

アジアラリー・アドベンチャークラスに参加してきました！



■井原永理さん
ガレージモンチの黄色いジムニーでトライアングルに参戦中！ こう見えて？海外にもフラット一人で出かけてしまうような、頼もしい一面も持ち合わせています。

4 駆を愛するみなさん、こんにちは！ 三重県四日市市にあるクルマの整備屋さん「ガレージモンチ」の井原です。メンバーに支えられながらトライアングル中部 DV、関西 DV に参戦しています。もし私を知っている人がいるとすれば、それは以前関西 DV で派手に第 2 セクションを横転し「横転女王」と呼ばれたからでしょう…。

さて、去年の JAPAN ファイナルのアンダー 71 クラスで仲間の「ガレージモンチ青空の会ディクセル」が優勝し、副賞でアジアラリーのアドベンチャークラスに招待されました。「世界遺産のアンコールワットの中をクルマで走れるんだって！ クルマで国境越えだって！ 楽しそう！」と思ったワタシ

は、仲間とともに優勝ではなく有料で参加。合計 6 人がガレージモンチとしてタイへ出発したのです。

アドベンチャークラスとは、アジアラリーを体験できるクラス。レンタカーが用意されていて、選手たちと毎日同じホテルに泊まり、同じ日程でゴールまで移動します。「アジア最高峰のクロスカントリーラリーをみんなと楽しめる！」という楽観的な…というより、「ラリーって何だろう？」から始まったワタシのアドベンチャークラス。最初から最後まで、驚きと刺激の嵐の 10 日間でした。

なにしろラリー出場者に、かつてバイクで世界を制した青木拓磨さん、そして俳優



「世界遺産のアンコールワットの中をクルマで走れるんだって！ クルマで国境越えだって！ 楽しそう！」。そんな話を聞いて参加したアジアラリー・アドベンチャークラス。笑いあり、涙ありのアドベンチャークラス体験レポートです！

最初から最後まで 驚きと刺激と嵐の10日間！

の哀川翔さんがいるのです。彼らと同じ空間にいただけで、夢のような生活です。

6 日間に渡る約 2000km のラリーコースは、スタートがタイのパタヤ、そしてゴールがカンボジアの国境を越えたアンコールワットでした。競技 (SS) の距離は毎日決められていて、毎朝ホテルから SS のスタートまで 100km ~ 200km、SS は 200km ほど、そして日が暮れて SS を終えると、その日のホテルまで 100km ~ 200km を走るの当たり前で、それはもう選手にとって過

酷な毎日であることは想像がつかます。

ワタシたちにはレンタカーとして、ディスカバリーが用意されていました。出発前に自分たちでクルマを磨き、選手と同様ステッカーを貼って、気分はまるでレーサーです。

そして、いよいよラリースタートです。タイ人ディレクターの案内のもと、ラリーカーからとても近い場所で、ものすごい迫力の SS スタートを観戦。同じアドベンチャークラスで同行していた韓国人の方々とも仲良

くなり、このスタートだけで初日からワタシたちは大盛り上がりです。

選手全員のスタートを見送ると「さあ、次はアドベンチャークラスも SS を走るぞ！」。え？ いきなりそんなことをさせてもらえるの!? 行ってみないと分からない、その時にならないと分からない、なんて楽しいツアーなんだ！ という私たちのラリーの始まりでした。

でも、いざスタートを切るとワタシたちのディスカバリーは、スタート直後の上り